

損保協会中部支部が防犯CSR実践企業として表彰

～ 自動車盗難防止活動や災害便乗悪質業者対策が評価されました ～

日本損害保険協会中部支部（委員長：川杉 朋弘・東京海上日動火災保険株式会社、常務執行役員）では、全国防犯CSR推進会議が実施する防犯CSR実践企業として選定され、7月26日（金）に同会議が開催する防犯CSR表彰式に参加しました。

日時：2024年7月26日（金） 15：30～17：00

場所：海事センタービル

議題：防犯CSR表彰、記念講演

評価された点は、愛知県自動車盗難等防止協議会の事務局として愛知県警察本部と連携し、自動車盗難件数減少のため各種啓発活動を実施していること、災害に乗じて消費者を勧誘する悪質な業者とのトラブル防ぐため、自治体や損保各社、代理店と連携し活動を実施していることです。

当日は、当支部の及川事務局長が同会議の宮地会長から賞状を受け取りました。

当支部の他、9団体が防犯CSR実践企業として選定され、それぞれ賞状の授与があり、続いて同会議顧問の藤井良広先生（上智大学大学院元教授）、大久保智生先生（香川大学教育学部准教授）からの記念講演がありました。

当支部では、引続き自動車盗難や災害便乗商法の被害者を減らすべく、積極的な活動を行っていきます。



「2024年7月26日 第6回防犯CSR実践企業表彰 全国防犯CSR推進会議」

受賞団体の記念撮影
(中部支部及川事務局長は右上)



表彰状